



「北回帰線」「南回帰線」って、何のことなの

南半球 と 北半球 にある 回帰線

世界地図をみると、台湾の中央部を東西に走っている線がかかれています。その線には、北回帰線という名前が書いてあるのに気づいたことがありますか。

回帰線とは、地球上の北緯23度26分と、南緯23度26分の緯線をいいます。南半球にある回帰線を「南回帰線」といい、北半球にある回帰線を「北回帰線」といいます。

これは、赤道から23度26分はなれて引いた平行線です。

太陽は、夏至のときに北回帰線の真上にきて、冬至のときに南回帰線の真上にきます。

太陽が春分のころから北回帰線の真上にくるまで北に進み、ここからまた南に向かって帰っていくので、この回帰線という名前がつけられたのです。

南回帰線と北回帰線の間は、熱帯にあたります。つまり、南回帰線と北回帰線は、熱帯と温帯の境界線にあたると考えられているのです。

北側の日あたりのいい家

日本は北半球にありますから、家を建てるとき、日あたりを考えて、南向きに建てますね。南半球のオーストラリアなどでは、北側が日あたりのいい方向となります。北向きの日あたりがいいというと、わたしたち日本人には、理解しにくいことですね。

(監修・保岡 孝之)

